

2012年6月20日
株式会社アサツー ディ・ケイ

現地の写真館 店主佐藤信一氏が、故郷と大切な人々を撮り続けた写真集『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』の売上一部を南三陸町へ支援金として寄附

株式会社アサツー ディ・ケイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：清水與二 以下 ADK）は、2012年6月8日（金）に、宮城県南三陸町（佐藤 仁 町長）へ写真集『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』の売上による寄附目録を贈呈したことをご報告いたします。

ADK がグループ内出版社の株式会社日本文芸社との協同で2011年9月27日に発行した、「南三陸から 2011.3.11～2011.9.11」は、大きな被害を受けた宮城県南三陸町で、自ら被災しながらも、震災直後から現地の様子を撮影し続けている佐藤信一さんによる写真集です。

ADK では、この写真集一冊につき300円を、および追加利益分についてはその全額を、南三陸町への支援金として寄附を行う取り組みとしております。

■寄附先：宮城県南三陸町（佐藤 仁 町長）

■寄附総額：4,725,650円

- ・内訳 - 発行日の2011年9月から2012年3月までの販売分15,364部より、1冊につき300円
- さらに当該期間の利益分116,450円

*今後の売上に関しても、一定期間ごとの売上を対象として、引き続き寄附を行なっていく予定です。



*写真 右：宮城県南三陸町長 佐藤 仁氏 左：(株)アサツー ディ・ケイ取締役執行役員 中里宏

<写真集概要>



『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

著者:佐藤信一

オフィシャルサイト URL:

<http://www.minamisanriku-kara.com/>

定価:1,500円(税別)

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行:ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

発売:日本文芸社

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』は、現地で被災をし、今もなおそこで暮らし続ける当事者佐藤信一さんが撮ったからこそ伝えられる、“ぬくもり感”に満ちています。被写体である町の方々も、よそ行きの顔ではない“ありのままの姿”で写っています。そしてなによりも、復興に向けたエネルギーに満ちた写真集です。

佐藤信一さんは、写真集の刊行に当たって次のように述べています。

「私の店も家もすべて流されたけど、この町に生かされた写真屋ができる事。それはやはり写真で恩返しする事。そう強く感じています。かけがえのないふるさとと人々の心の強さ、あたたかさを伝える為に。今を写せば未来へ繋がる。写真の力を信じて。」



<著者プロフィール>

1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子二代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを今も撮りつづけている。

<本件に関するお問合せ>

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします

広報室 (担当: 大内) TEL 03-3547-2003 / E-mail: mskr_prj@adk.jp

- * 本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者である佐藤信一さんへの取材等につきましては、上記担当までご連絡ください。
- * 一般の方からのお問合せは、E-mail、オフィシャルホームページにて承ります。

<参考:写真集収録内容>

* 本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者である佐藤信一さんへの取材等に付きましては、お問い合わせ先：03-3547-2003（担当：大内）までご連絡ください。

